

「胸痛と動悸」

中村医院
中村和生
若松区赤島町6-11
電話 761-2586

胸の痛み（胸痛）や動悸で多くの患者さんが病院を受診されます。一体どのような症状が心臓病に典型的なのでしょうか？胸の痛みというだけで、狭心症、心筋梗塞をはじめ動脈瘤、食道炎、胃炎、胃潰瘍、膵炎、胆石に神経痛、筋肉痛、肋骨骨折まで疑うべき疾患は非常に多彩です。心臓病に関する胸痛の症状のポイントは、いつ、どこが、どれくらいの間痛むのか？痛みは鋭いのか、鈍いのか？体を動かしていると（労作時）痛いのか？じっとしている時に（安静時）痛いのか？痛いところをおすと痛いのか、痛くないのか？などでしょう。いつも登る階段が休み休みでないと登れなくなった。や、坂を登ると肩がこったり、胸から喉にかけて重く苦しむ感じがするなども狭心症を疑う立派な症状でしょう。逆にピリッとする、体をねじると痛むなどはあまり典型的ではありません。喫煙歴のある人、糖尿病、高血圧、高脂血症、高尿酸血症（痛風）、肥満などが一つでもある方は症状に気を付けるべきだと思います。とくに長い間、糖尿病をお持ちの方、糖尿病のコントロール不良な方は、糖尿病の神経障害で胸の痛みなどの症状が出にくいことがあります。突然、心筋梗塞などの重病を発症することがありますので、一度循環器的な検査（運動負荷テスト、心エコー等）を受けることをおすすめします。無症状の時の心電図は、胸痛がある時の心電図と比較する為や、小さな変化をみる為に非常に重要です。症状がなくてもなるべく心電図をとってもらうようにしましょう。

動悸に関しても狭心症と同様に自分の症状をしっかりと確認してみましょう。脈が触れる部分（手首、肘、首など）を軽く触れ、脈を確認します。動悸がある時は脈がとんでいるのか、速いだけなのか、逆に遅いのか？1分間に何回うつのか？1分間に何回とぶのか？などみてみましょう。失神したり眼の前が真暗になる（眼前暗黒感）時はすぐに受診しましょう。毎日、動悸がある方は24時間ホルター心電図という器械を装着してどんな不整脈かみることも可能ですので御相談下さい。ほとんどの不整脈は治療がいらなかったり、発作の時のみの治療で済みますが、心臓病や他の疾患（甲状腺疾患など）が見つかることもありますので、胸痛とあわせて、すぐに年令などのせいにせず正直に自分の症状をみてみましょう。胃や大腸の病気と同様に起こるまで待つのではなく、病気の早期発見の為に症状を放置しないように気を付けてください。